



# 「健康経営®」の取り組みについて

令和5年12月15日

# ● 我が国の医療保険制度

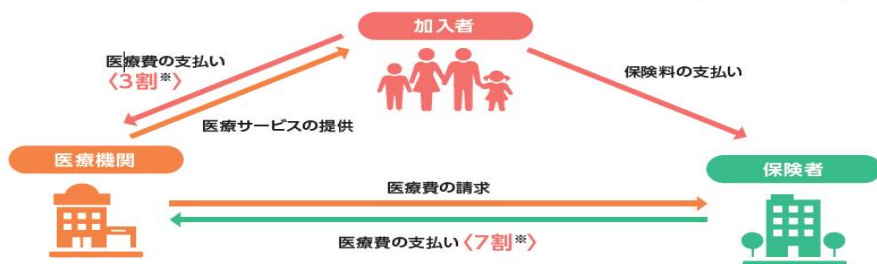
## 「国民皆保険制度」

医療保険（健康保険）は、病気やケガによって生じる経済的な負担を、お互いで支え合うことを目的としている社会保障制度の1つです。すべての国民が何らかの医療保険に加入し、お互いの医療費を支え合っています。



### 医療サービスが提供される仕組み

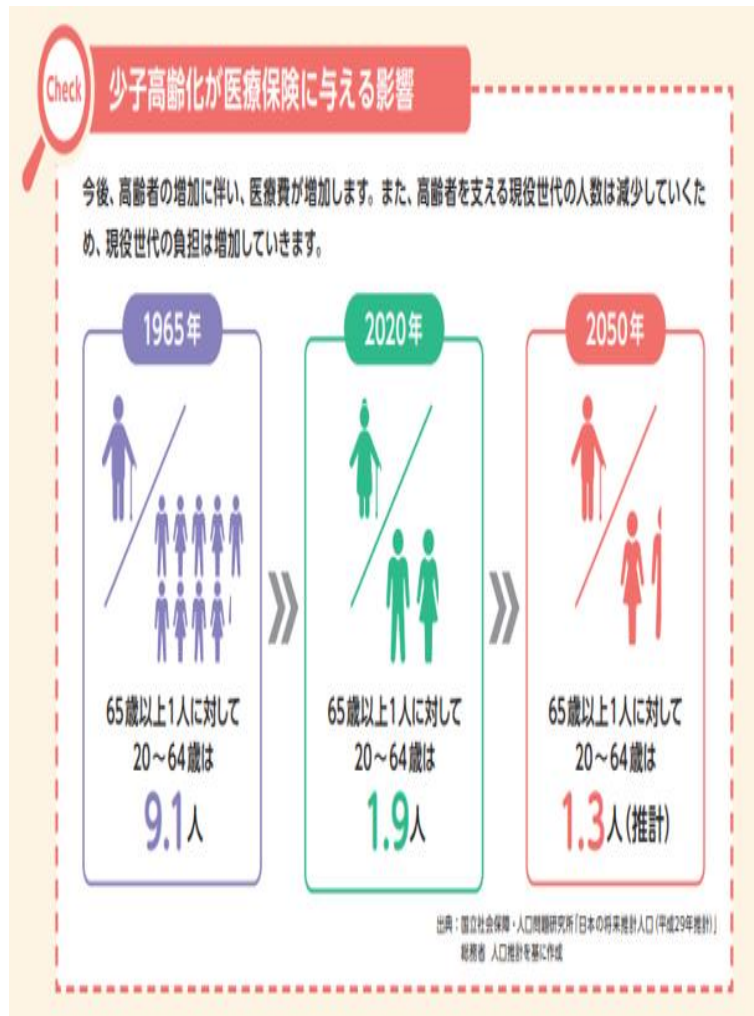
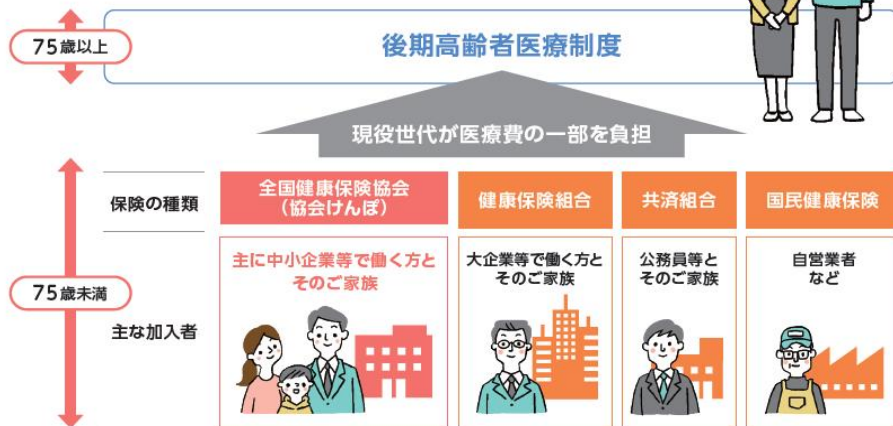
保険証を医療機関等に提示すると、医療費の3割（自己負担）のみを支払うことで、医療サービスを受けることができます。



※自己負担割合は年齢等により設定されているため、1割または2割の場合があります。これに伴い、医療機関が保険者に請求する医療費の額も、9割または8割となります。

### 医療保険の分類

加入する医療保険は、年齢、職業、地域などに応じて違いがあり、高齢者の医療費を現役世代が支える仕組みとなっています。



# 1. 健康経営に取り組む背景

2. 健康経営とは・・・

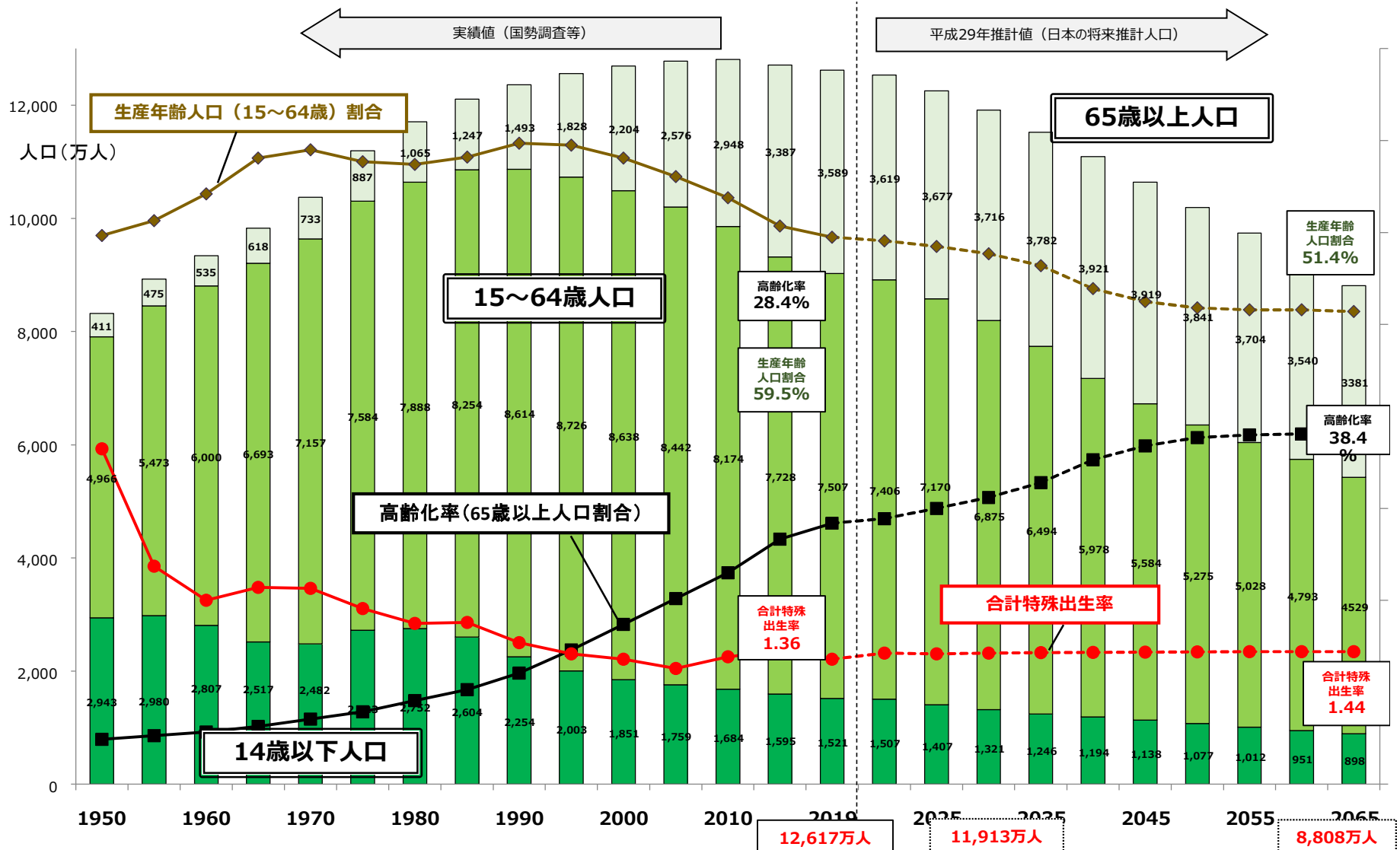
3. 健康経営の推進（攻めの健康経営・守りの健康経営）

4. 健康経営優良法人2023認定事業所の取組事例

5. 協会けんぽの健康事業所宣言

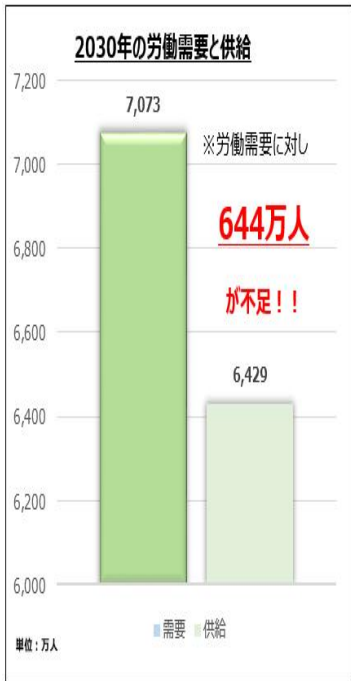
6. 最後に・・・

# ●健康経営に取り組む背景① 我が国の将来推計人口



(出所) 2019年までの人口は総務省「人口推計」(各年10月1日現在)、高齢化率および生産年齢人口割合は、2019年は総務省「人口推計」、それ以外は総務省「国勢調査」、2019年までの合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」: 出生中位・死亡中位推計

# ●健康経営に取り組む背景② 労働需給・社会保障給付費の見通し・医科診療医療費など

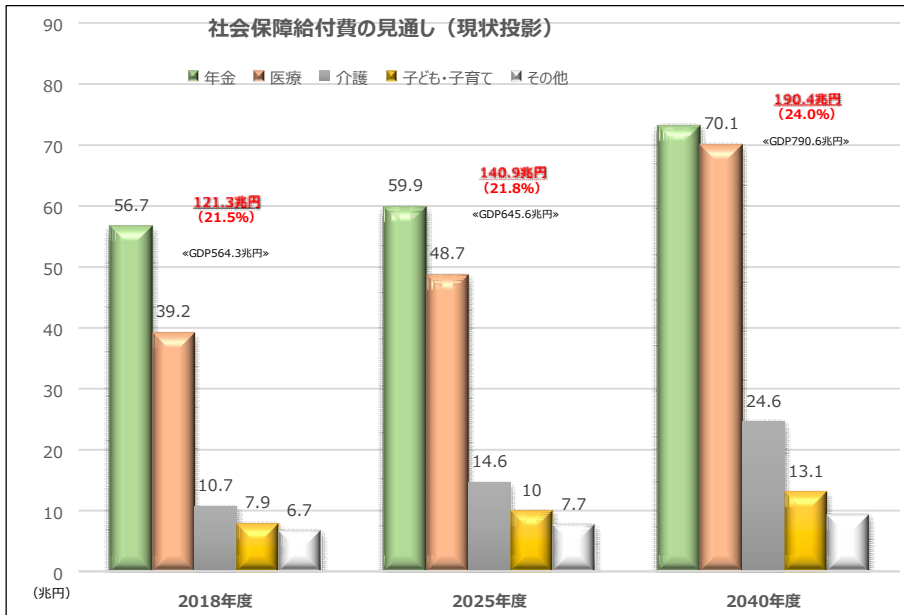


■ 2030年、人出は**644万人不足**する

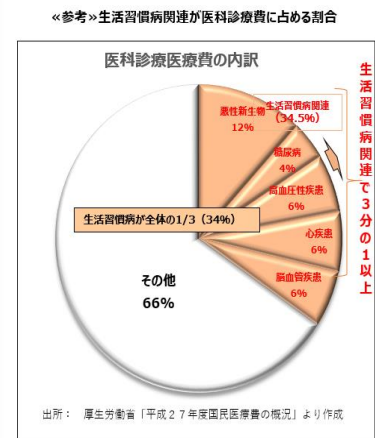
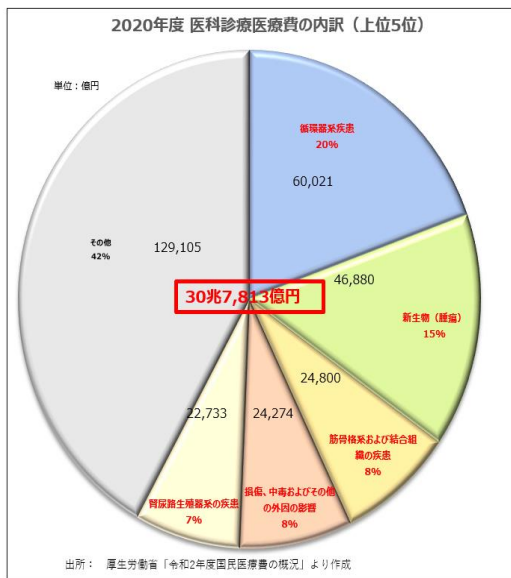
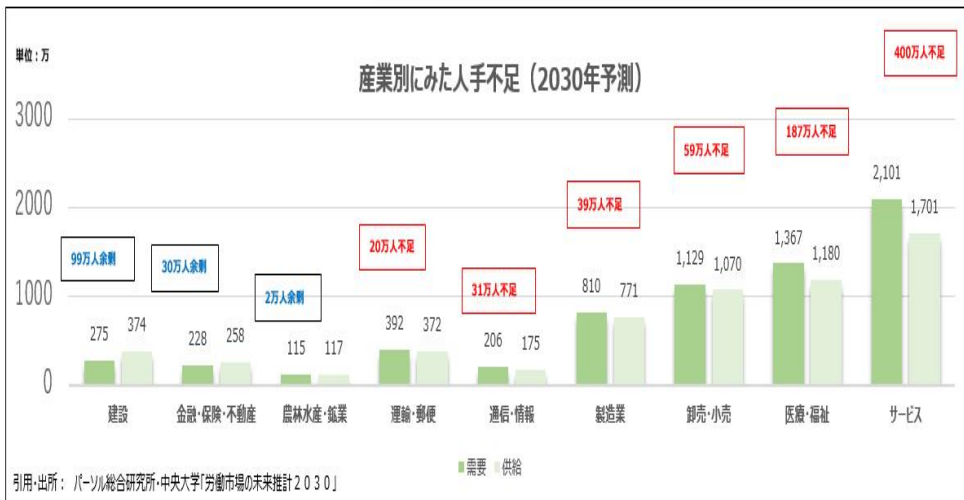
■ サービス業・医療福祉業などは現在でも不足しているが、少子高齢化などにより今後の大きな需要に供給が追いつかないと予測

【考える対応策は?】

- 生産性を上げること  
最低4%生産性を上げると298万人の労働需要を減らすことが可能
- 働くシニアを増やすこと  
64歳男性の労働力が69歳まで維持、60代女性の70%が働くシニアは163万人増加
- 働く女性を増やすこと  
25~29歳時の労働力率が49歳まで維持されると、働く女性は102万人増加
- 働く外国人を増やすこと  
政府が進める新たな在留資格創設により、日本で働く外国人は81万人増加



引用・出所: パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計 2030」



1. 健康経営に取り組む背景

**2. 健康経営とは・・・**

3. 健康経営の推進（攻めの健康経営・守りの健康経営）

4. 健康経営優良法人2023認定事業所の取組事例

5. 協会けんぽの健康事業所宣言

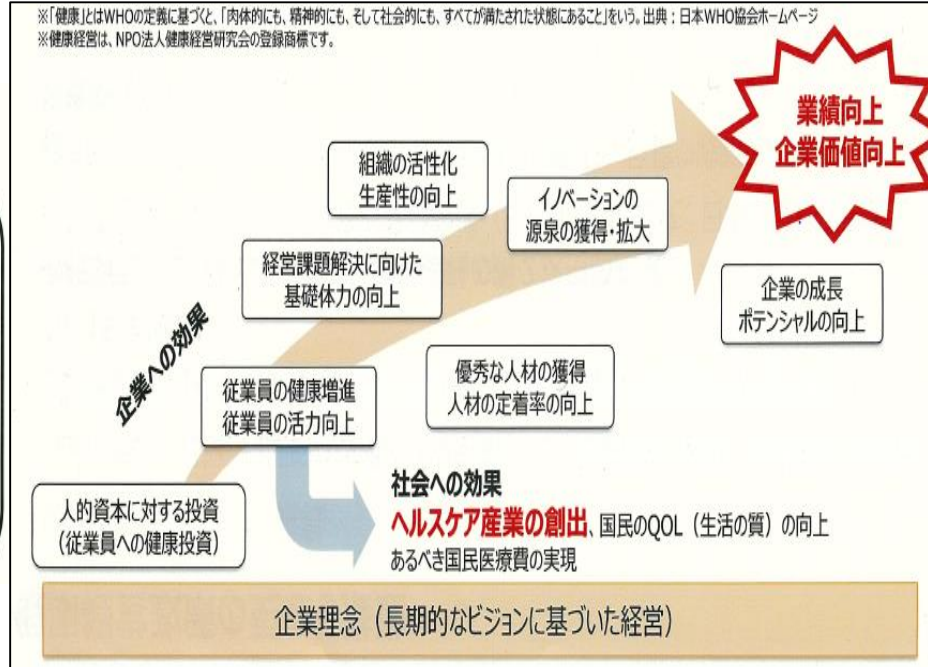
6. 最後に・・・

# ● 健康経営の推進① 「健康経営®」とは…… 健康経営の深化

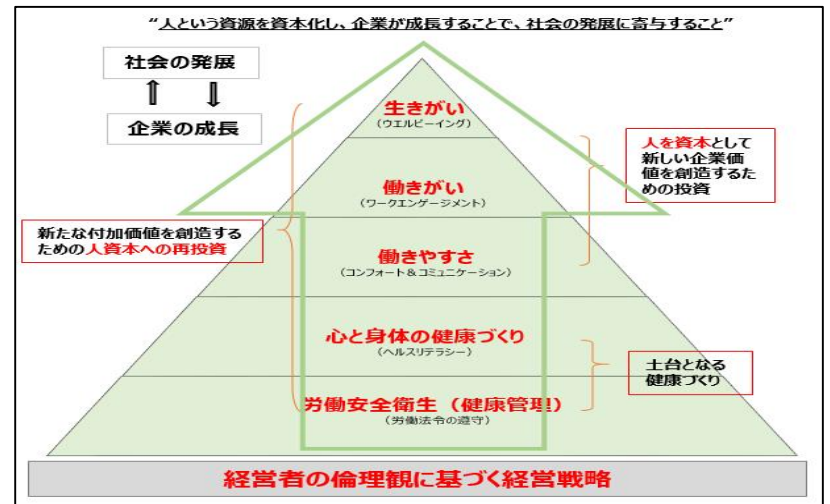
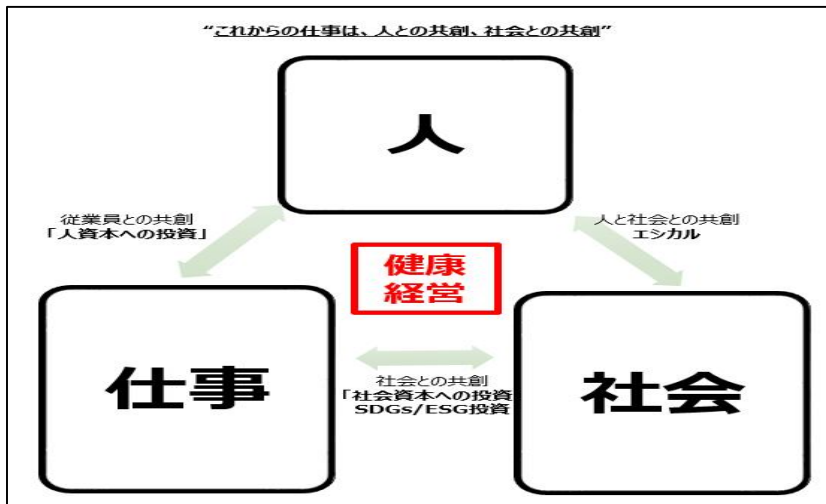
## 「健康経営・健康投資」とは

- 健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、**健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。**
- 健康投資とは、**健康経営の考え方に基づいた具体的な取組。**
- 健康投資は従業員の活力向上や生産性の向上等の**組織の活性化**をもたらし、結果的に**業績向上や組織としての価値向上へ繋がる**ことが期待される。

出典：「健康経営優良法人認定2024」について（令和5年8月31日・経済産業省）

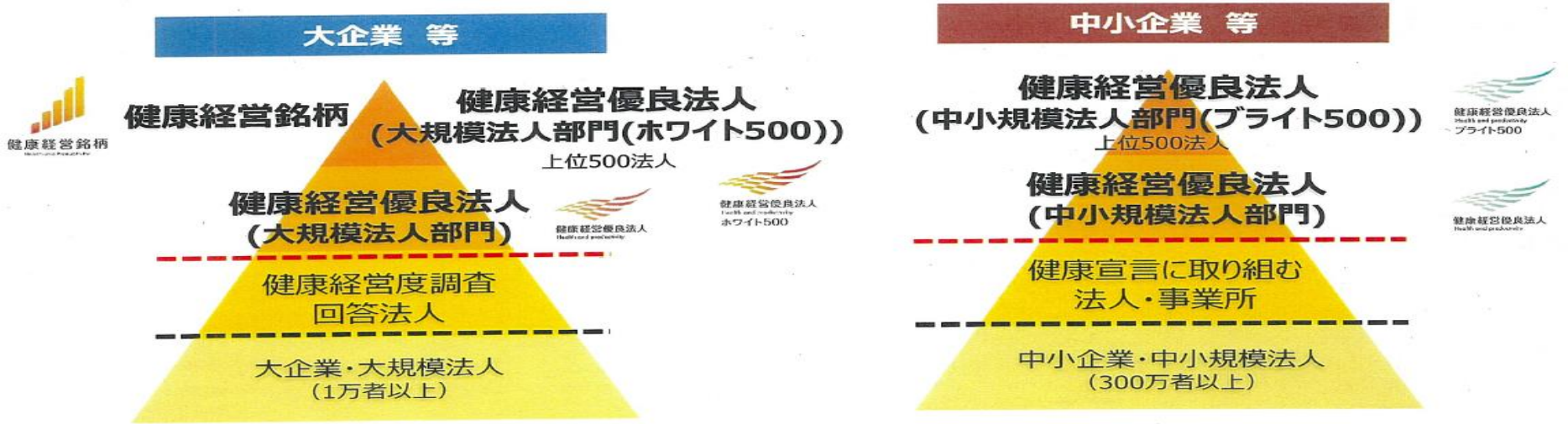


■ 今後は、「人という資源を資本化し、企業が成長することで、社会の発展に寄与すること」、これからの企業経営にとって益々重要になっていくものと考えられる

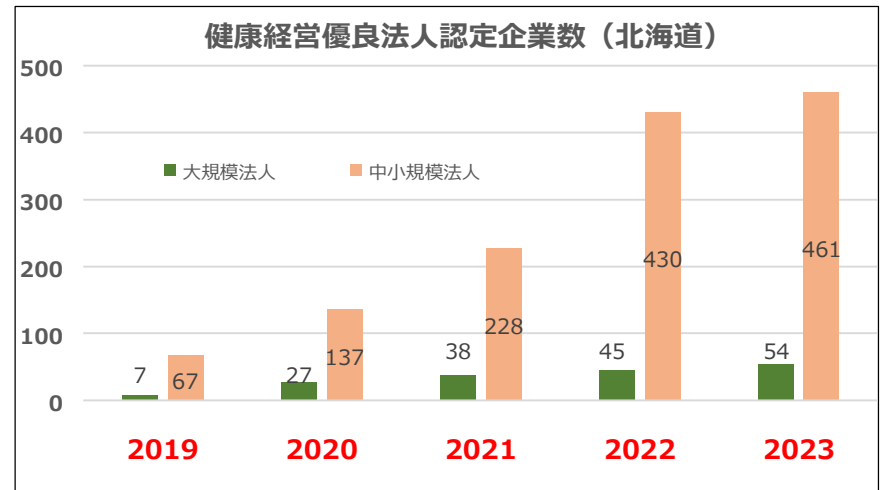
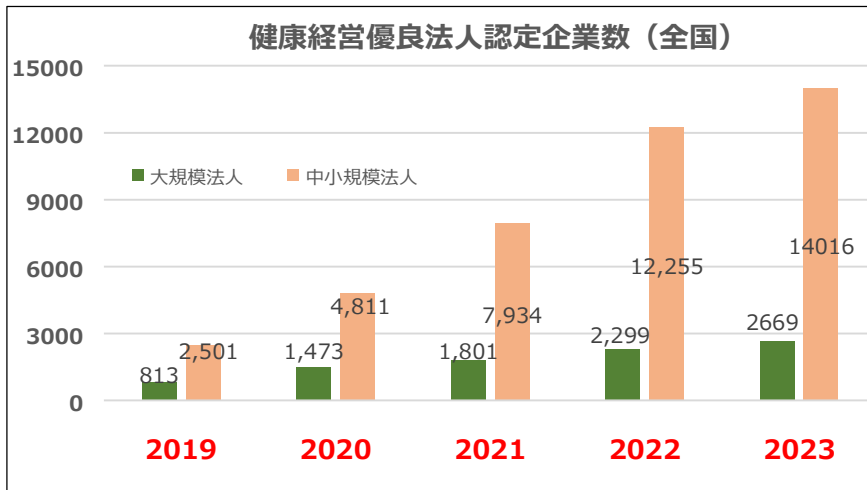


# ●健康経営の推進② 健康経営優良法人制度と認定企業数の推移

■健康経営優良法人制度とは、特に優良な健康経営を実践している企業等の法人を『見える化』することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから評価を受けることができる環境を整備することを目的に、2016年度に経済産業省が創設した制度



出所：令和3年10月 経済産業省ヘルスケア産業課『健康経営の推進について』





## ●健康経営の推進③ 健康経営の推進とインセンティブ制度について

実施主体	インセンティブ制度	内容
北海道	優良がん対策推進企業表彰	がん検診や受動喫煙対策等がん対策に取り組む企業を表彰
北海道 協会けんぽ北海道支部	健康事業所宣言	「健康経営」に取り組む企業を認定しサポート
札幌市	札幌市がん対策認定企業	がん検診や受動喫煙対策等がん対策に取り組む企業を認定
苫小牧	苫小牧市建設工事競争入札参加資格格付の加点	地域貢献活動による加点の項目に「健康経営優良法人」の認定
江別市	建設工事に係る競争入札参加資格格付け	健康経営優良法人の認定を受けている企業に加点
北洋銀行	ほくよう健康増進サポートローン	協会けんぽ北海道支部の「健康事業所宣言」企業向け商品
北海道信用保証協会	健康宣言企業応援保証 すこやか北海道	協会けんぽ北海道支部の「健康事業所宣言」企業向け商品

※ACTION!健康経営（ポータルサイト/健康経営優良法人認定制度）より

# ● 健康経営優良法人2024の主な改訂ポイントと議論

## ■ 健康経営優良法人認定制度2024及び健康経営銘柄の設計等について（健康・医療新産業協議会 健康投資WG（第9回））

- ・特定健診・特定保健指導は最優先事項であるものの実施率が上がっており、せめて銘柄企業に対しては国の目標値以上という高いハードルを設定する等後押しができればよい
- ・現在もまだ健康づくりや予防は自助努力だと認識されているため、職場等のコミュニティにフォーカスしたような指標も重視したい
- ・制度施策に関する項目数が増えている中、各項目の重要度が薄まってしまっている印象があるため、経営と密接にかかわっている項目についての配点の調整を検討する必要がある
- ・10年後の働き方を視野に入れたうえで、健康経営の在り方や制度の在り方を議論できるとよい
- ・次のステップとして、ワークエンゲージメントは重要になってくる、人的資産を高めるための健康経営はさらに重要視されていこう
- ・従業員に投資をして企業価値の向上に繋がるというモデルが示されて望ましい、反面、多くの企業がこのモデルに追い付いていない。従業員の健康に投資することによる目的・意義があり、投資に対してどう評価していくのか考えるべきであり、健康経営の質をどのように向上していくのか再考すべき時期である

※議事要旨より主な意見を抜粋

ポイント	改訂内容
情報開示の推進	<p>○特定健診・保健指導の実施率の評価【大規模】 企業（事業主）単位の特定健診・特定保健指導の実施率を問い評価対象とする</p> <p>○業務パフォーマンス指標の開示【大規模】 『業務パフォーマンス指標とその測定方法』を開示していることを評価対象としホワイト500は認定要件（測定範囲・回答率も開示状況を確認）</p> <p>○安全衛生に関する開示【大規模】 労働安全衛生・リスクマネジメントの開示状況について問う（健康経営に取り組むにあたっての土台でありそれらを含む開示内容を一連で問う）</p>
社会課題への対応	<p>○仕事と育児・介護の両立支援【大規模・中小規模】 仕事と育児・介護の両立支援に関する質問を新設し、適切な働き方の実現を問う設問（Q44）と両方取り組むことを認定要件 中小規模は認定要件とはせずアンケートで現状把握する</p> <p>○女性特有の健康課題【大規模・中小規模】 女性の健康課題に関する認知向上のための取組状況を問う設問（Q56）と行動変容促進の取組を問う設問（Q57）、両設問への回答で認定要件</p> <p>○生産性低下防止のための取組【大規模・中小規模】 新たに、花粉症及び眼精疲労に対する具体的な支援を追加する</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応【大規模・中小規模】 コロナ5類移行を踏まえ、インフルエンザ等を含む感染症対策を問う設問へ統合する（アンケート）</p>
健康経営の国際展開	<p>○海外従業員への対応【大規模】 海外駐在員、現地法人で雇用されている社員の健康増進、健康課題への対応等を把握するため新たに設問を設ける（評価対象外）</p>
取組法人の裾野拡大	<p>○中小企業への普及拡大策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブライツ500申請法人について結果のフィードバックを実施</li> <li>・ブライツ500の露出拡大を目的に優秀な取り組みをしている法人の顕彰もしくは公表を行うことを検討</li> <li>・次年度以降、中小規模法人に申請する全法人に対してフィードバックを行うことを検討</li> </ul>